



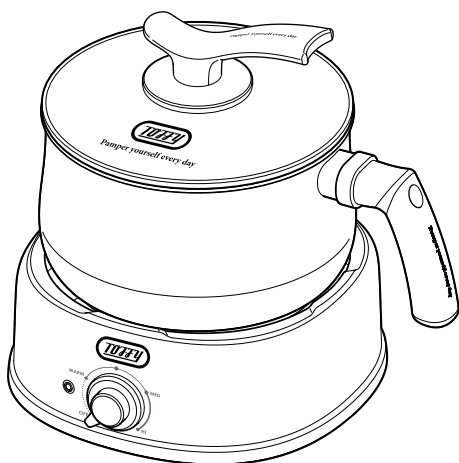
2WAY 電気マルチポット

品番：K-HP4

家庭用

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	8
各部の名称	10
ご使用の前に	11
使いかた	12
お手入れのしかた	16
故障かなと思ったら	17
保証書	20
製品仕様	20



おすすめレシピは
ホームページまで！

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。



警告

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コード・器具用プラグについて



ぬれた手で、電源プラグや器具用プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

破損した電源コードの修理をしない。
火災・感電・ショート・発火の原因となります。

プラグや電源コード・プラグ差込口を水や油につけたり、水をかけたりしてぬらさない。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。

器具用プラグやプラグ差込口がぬれた状態で使用しない。
ぬれた場合は必ず完全に乾かしてから使用してください。火災・ショート・感電・故障の原因となります。



プラグや電源コードが傷んでいるとき、プラグ差込口やコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。



交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。

器具用プラグはプラグ差込口の奥までしっかり差し込む。
接触不良になり、鍋が温まらなかったり、発熱・発火・故障の原因となります。

プラグやプラグ差込口にホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したままプラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。



警告



プラグや電源コードが破損した場合、直ちに使用を中止する。
すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ点検・修理を
ご相談ください。

感電・ショート・火災の原因となります。



使用後、電源コードを本製品
に巻き付けない。

電源コードが破損し、火災・感電の原
因となります。

専用の電源コード以外は使わ
ない。また、本製品用の電源
コードを別の製品に使わない。
火災・破損の原因となります。

電源コードは、本体の下を通
したり、温度の高くなる部分
に近づけたりしない。

電源コードの損傷により、感電・火災
の原因となります。



使用時以外は、電源プラグを
コンセントからはずす。

絶縁劣化による感電・漏電・火災の原
因となります。



プラグを抜くときは、電源コー
ドを持たずに必ずプラグを
持って引き抜く。

感電・ショートの原因となります。

電源コードはすべてほどいて
使用する。

電源コードを巻き付けたまま・束ねた
まま使用すると、火災・感電の原因と
なります。

器具用プラグやプラグ差込口
は常に清潔で乾燥した状態を
保つ。

異物がついたまま使用すると異常発
熱したり、正しく温度調節されなくな
り、故障の原因となります。



■ 取り扱いについて



分解・改造はしない。

火災・感電・けがの原因となります。

調理以外の目的に使用しない。

けが・やけど・感電・故障・火災の原
因となります。

本体のすき間にピンや針金な
どの金属物など、異物を入れ
ない。

異常動作して、けが・感電・故障の原
因となります。



安全に責任を負う人の監視ま
たは指示がない限り、補助を
必要とする人（子供を含む）
には、単独で使用させない。
また、製品で子供が遊ばない
ように注意する。

感電・けが・やけどの原因となります。

本体を水に浸したり、水をかけ
たりしてぬらさない。

火災・ショート・感電・故障の原因と
なります。

カーテンなどの可燃物の近く
で使用しない。

火災の原因となります。



安全上のご注意 (続き)

警告



鍋をストーブの上で使用しない。
熱湯が飛び出したり、異常加熱されたりして、火災・けが・やけど・破損の原因となります。

使用中や使用直後の製品は非常に高温になるため、調理者以外は絶対に近づかない。
やけどの原因となります。

鍋内側にある MAX ライン
(最大水量: 1.6L、最大油量: 1L) を超える量の水や油を入れない。

蒸気や水・油が飛び散ったり、水や油がこぼれたりし、やけど・火災の原因となります。



調理物が発煙・発火したときは、すぐに温度調節ダイヤルを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

火災の原因となります。

炎が消えるまでガラス蓋を開けないでください。空気が入り炎が大きくなります。また、水をかけないでください。ガラス蓋のガラスが割れます。

ご使用中に下記のような異常を感じた場合は使用を中止する。

- ・本体が異常に熱い
 - ・焦げくさい
 - ・異常な動作をする
- 発火・けがの原因となります。



電源プラグをコンセントに差し込む前に温度調節ダイヤルが「OFF」になっていることを確認する。

けがの原因となります。

揚げものをする場合は、以下の点を守って使用する。

- ・油温が 200℃ 以上にならないようにする。火力は必ず MED・中火以下で使用する。
- ・火災・故障の原因となります。
- ・食材以外のものを入れない。
- ・鍋に水分、水滴がついた状態で油を入れない。
- ・調理中、顔を近づけない。
- ・調理中、ガラス蓋を使わない。
(ガラス蓋の裏面につく水滴が落ち、油が飛び散り危険です)
- ・適温にならないうちに食材を入れない。
(食材が入っている状態で油温が上がってくると、油が飛び散り危険です)
- ・オリーブオイルなど発火温度の低い油を使用しない。
- ・揚げすぎに注意する。(特にいかやゆで卵は揚げすぎると、破裂することがあります)
- ・調理後の油を鍋に入れたまま保管しない。

お手入れの際は必ず温度調節ダイヤルを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・けが・やけどの原因となります。

注意



本製品は一般家庭用です。
業務用として使用しない。
火災・故障の原因となります。

本体や各部品に衝撃を加えない。
破損してけがや故障の原因となります。

破損や変形、ぐらつきやがたつきがあるときは絶対に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。



温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しない。
故障・変形の原因となります。

不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しない。
けが・故障の原因となります。



使用中は本製品から離れない。
調理物が発火して、火災の原因となります。

使用中に本体を持ち運びしない。
故障・やけど・けがの原因となります。

専用部品以外は使用しない。
他社製の鍋等、専用部品以外のものを使用しないでください。故障・やけど・けがの原因となります。

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。
やけどの原因となります。

電子レンジやオープン・IHヒーターでは使用しない。
故障・火災の原因となります。

調理物を入れたままにしたり、汚れ等を付着したままにしない。
故障の原因となります。

本来の使用方法以外の目的・用途に使用しない。
ユーザーズガイドの内容以外に使用したり、誤った方法で使ったときは、けが・故障の原因となります。

蓋のグリップ・鍋の取っ手がぐらついた状態で使い続けない。
やけど・破損の原因となります。
ぐらついたときは、ネジを締め付けてください。

ビン・缶詰などを直接加熱しない。
破裂してけが・やけどの原因となります。

多量のアルコールを含む食材の調理をしない。
火災・けが・故障の原因となります。

必要以上の加熱や空炊きをしない。
劣化・故障・火災の原因となります。



本体底部をふさがない。
異常発熱し、故障の原因となります。

本体に鍋を置いていない状態では使用しない。
火災・やけどの原因となります。

壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。
食材や油の飛び散りにより周囲を汚損する原因となります。

金属製のへらや箸、ナイフなどを使用しない。
鍋を傷つける原因となります。

外部タイマーや個別の遠隔操作システムと一緒に使用しない。
火災・やけどの原因となります。

加熱板で直接調理をしたり、専用の鍋以外の製品を使用しない。
感電・故障の原因となります。



使用後は必ず毎回お手入れをする。
故障・発煙・発火の原因となります。

持ち運びやお手入れ、保管をするときは、製品が冷めてから行う。
火災・やけどの原因となります。

吹きこぼれないように注意する。吹きこぼれた時はすみやかに温度調節ダイヤルを「OFF」にしてコンセントを抜き、高温部が冷めてからしっかりと拭き取る。
感電・ショート・火災・発火・故障の原因となります。

鍋底が水などでぬれている時は、底をしっかりと拭いてから使用する。
感電・ショートのおそれがあります。

安全上のご注意 (続き)

■ ガラス蓋の取り扱いについて



高いところから落とすなど、急激な衝撃、強い衝撃を与えない。

破損・けがの原因となります。

ガラス蓋は耐熱ガラスではありません。蓋が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた布で触れるなど、急激な温度変化は与えない。

破損・けがの原因となります。

傷が付くような取り扱い（磨き粉等の使用）はしない。

破損の原因となります。

蓋をずらすなど、蓋に直火があたるように使用しない。また、落とし蓋の代わりに使用しない。

ガラスの一部のみに加熱すると、破損・けがの原因となります。



強化ガラスは破損すると細かく破片が飛散する特性がありますのでご注意ください。もし誤って破損した場合、手を切らないように取り除いてください。

落としたり、傷が付いたり、直火にあててしまったガラスは、外観上異常がなくても「強化処理」をした表面のバランスが崩れ、ある日突然粉々に割れる場合がありますので使用を中止してください。



専用ガラス蓋を他の製品に使用しない。

破損・けがの原因となります。

電子レンジ、オーブンでは使用しない。

発火・破損・けがの原因となります。



蓋以外には使用しない。

破損・けがの原因となります。

食器洗浄機、食器乾燥機などを使わない。

変形・破損の原因となります。

■ 置き場所について



製品の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしない。

火災の原因となります。

不安定な場所や滑りやすい場所で使用しない。

けが・故障の原因となります。

高温多湿な環境で使用および保管をしない。

火災・感電・故障の原因となります。

ビニール製のテーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に置いて使用しない。

跡形がつく恐れや火災の原因となります。



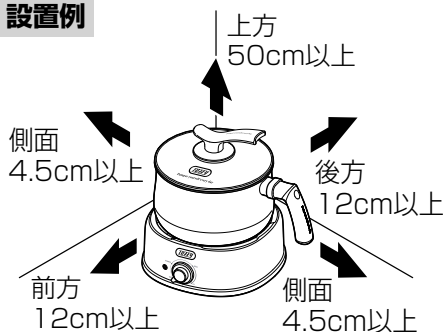
壁や家具から右図の距離を空けて設置する。

火災や熱による家具の変形・変色の原因となります。

水のかからない場所に設置する。

感電・故障の原因となります。

設置例



- 安定した台の上などに置いてください。
- 前方および側面の片方は開放するように設置してください。
- 上図はあくまで目安であり、熱に弱いものなどはより離れた場所に置かれることをおすすめします。

注意

使用上のご注意

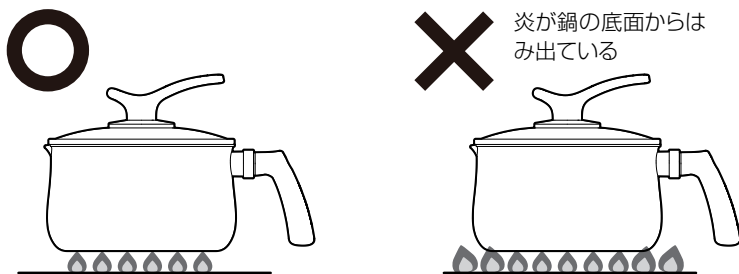
- 本製品は一般家庭用です。その他の用途には使用しないでください。
- 不安定な場所で使用しないでください。
けが・破損の原因となります。
- 温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。
故障・変形の原因となります。
- 使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。
部品をそのままにしておくと、カビや破損などの原因となります。
- お手入れは完全に冷えた状態で行ってください。
- お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは使用しないでください。
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。
- 本体で本製品以外の鍋を加熱することはできません。
- 鍋底が水などでぬれている時は、底をしっかりと拭いてから使用してください。
感電・ショートのおそれがあります。
- 注ぎ口部分からお湯が尻まわりすることがあります。
- 酸性およびアルカリ性の食材や調味料の使用は避けください。
- お米を炊くときは、2 合以下で行ってください。
吹きこぼれたり、お米が鍋からあふれたりして、思わぬ事故ややけどの原因となります。
- 洗米をする場合は別の容器で行ってください。
鍋を傷つける原因となります。
- 味噌汁や粘性のあるものを温めるときには、よくかき混ぜて、MED 以下で加熱を始めてください。
突沸して、やけどの原因となります。

＜鍋の直火での調理について＞ ※直火で使用すると、鍋底面に焼け跡が付きます。

- 鍋単体は直火でも調理可能です。直火にかけるときは、鍋底面よりはみ出す炎にはかけないでください。また、必ず中火以下で使用し、空炊きはしないでください。

・鍋の変色や破損の原因となります。

・取っ手が焦げて異臭・破損・やけどの原因となります。

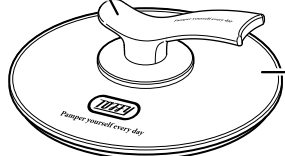


- 鍋はコンロの中央にのせ、安定した状態でご使用ください。
片寄った状態での使用は、転倒・破損の原因となります。
- ご使用の火力によっては鍋の劣化のおそれがあるので、長時間の直火使用はお控えください。
- 必要以上の加熱をしないでください。
劣化・故障・火災の原因となります。
- 調理中は鍋から目を離さず、吹きこぼれや煮こぼれしないよう、ご使用ください。
故障・ガス消火の原因となります。
- 本体や取っ手が熱くなりますので調理中・調理後はミトンなどを使用し素手でさわらないでください。
やけどの原因となります。
- 揚げものをする場合は、油温が 200℃以上にならないようにしてください。
- 調理中や調理直後は、本体・取っ手が熱くなっています。特にお子様の手に触れないようご注意ください。
やけどの原因となります。
- 味噌汁など調理物によっては、調理中や温め直しの際に、突沸現象により内容物が噴き出したり、場合によっては鍋が転倒する場合があります。危険ですので以下事項を厳守してください。
 - ① 温め直す際は火にかける前に、お玉などでよくかき混ぜてから加熱してください。
 - ② 強火で一気に加熱しないでください。
 - ③ 調理中もお玉などでよくかき混ぜながら温めてください。

各部の名称

ガラス蓋 ※揚げもの調理中は、ガラス蓋を使わないでください。

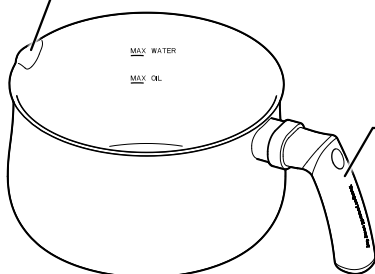
グリップ



品名	強化ガラス製器具
強化の種類	全面物理強化
取り扱い上の注意	●本製品は耐熱ガラスではありません。加熱や急冷などの急激な温度変化および衝撃を与えないでください。 ●傷が付くような取り扱い（磨き粉等の使用）は避けください。 ●破損すると細かく破片が飛散する特性がありますのでご注意ください。

鍋

注ぎ口



取っ手

器具用プラグ

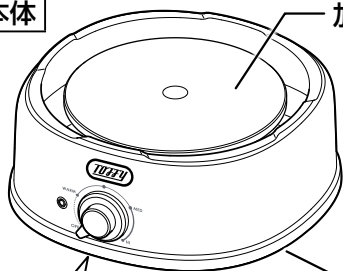


電源コード

電源プラグ

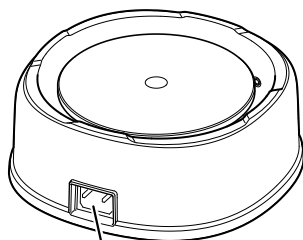
本体

加熱板



底部

■ 本体背面

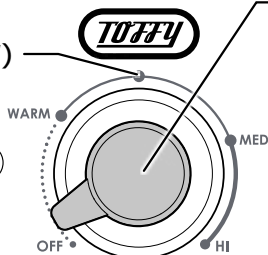


プラグ差込口

通電ランプ

温度調節中に点灯し、設定した温度になると消灯します。使用中は温度調節のため、ついたり消えたりする場合があります。

(LOW)



温度調節ダイヤル

右に回すと温度が高く設定されます。

ダイヤル表示		温度 (°C)
OFF	—	—
WARM	保温	約 55 ~ 85°C
TOFFY ロゴ部 (LOW)	弱火	約 100 ~ 120°C
MED	中火	約 160 ~ 200°C
HI	強火	約 200 ~ 240°C

※ガラス蓋をせず、材料を入れていないときの鍋中心の表面温度の目安です。

●火力は無段階で調節できます。

ご使用の前に

使用前の準備

はじめてご使用になるとき、または長時間使用していなかったときは、鍋・ガラス蓋を水洗いして乾燥させてからご使用ください。

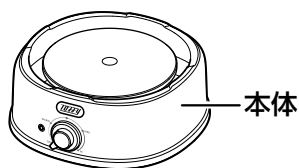
※お手入れのしかたは 16 ページ「お手入れのしかた」を参照してください。

⚠ 注意

十分に温度が下がってからお手入れをしてください。
やけどの原因となります。

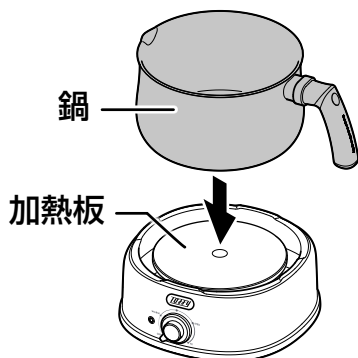
1 本体を水平で安定した、熱に強い場所に設置する。

- 近くに可燃物がない場所に設置してください。
- ビニール製のテーブルクロスなど、熱に弱いものの上には設置しないでください。



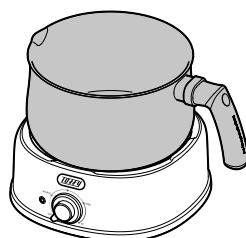
2 本体の上に鍋を置く。

- 鍋を置く前に、加熱板と鍋底の間の異物や水分を拭き取ってください。



⚠ 注意

加熱板上に本製品以外の鍋をのせないでください。
故障・事故・発火の原因となります。



3 器具用プラグをプラグ差込口に差し込んでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

- 温度調節ダイヤルが「OFF」の状態で行ってください。

⚠ 注意

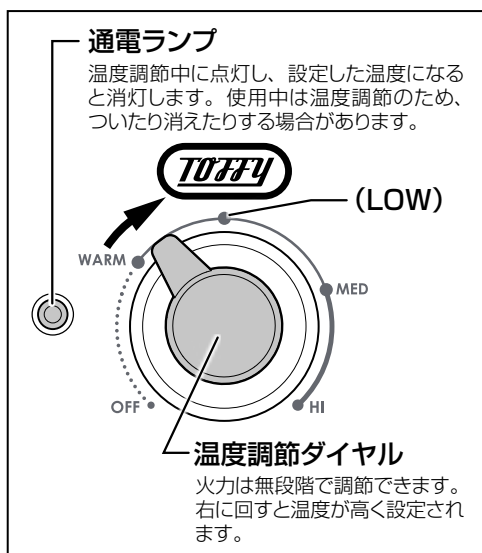
- 器具用プラグをプラグ差込口の奥まで、確実に差し込んでください。
- 電源コードは、本体の下を通したり、温度の高くなる部分に近づけたりしないでください。
電源コードの損傷により、感電や火災の原因となります。
- 電源コードを巻き付けたまま・束ねたまま使用しないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

使いかた

調理する

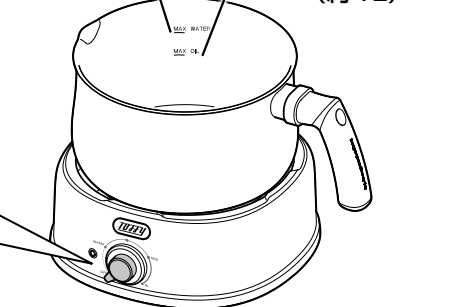
1 料理に応じて温度調節ダイヤルを右に回し、鍋を温める。

- 通電ランプが点灯していることを確認してください。
- はじめて使用するとき、においや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用により出なくなりますので、そのまま使用してください。
においや煙が気になる場合は、換気扇や窓を開けるなどして換気を行ってください。



水: MAXライン
(約 1.6L)

油: MAXライン
(約 1L)



お願い 温度調節ダイヤルの目盛は「OFF」と「HI」で止まります。それ以上は無理に回さないでください。

目安と料理例 ※ガラス蓋をしていないときの目安です。

● 煮る、炊く、揚げる

目盛	WARM	MED
料理例	保温	鍋 / 天ぷら / リゾット / カレー

● 焼く、炒める、蒸す、茹でる

目盛	LOW	MED	HI
料理例	味噌汁 スープ ポトフ	おでん ハンバーグ チキンソテー	パスタ 焼うどん 麻婆豆腐

調理物の仕上がりは、調理物の大きさや室温などにより異なります。
お好みの仕上がりになるように温度調節ダイヤルを調節してください。

2 鍋が温まったら調理を始める。

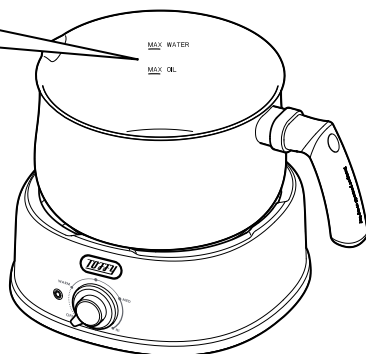
■ 煮る、炊く、焼く、炒める、蒸す、茹でる

料理の内容や必要に応じてガラス蓋を使用する。

- ガラス蓋を使うときは、必ずグリップを持ってください。
ガラスが高温になり、やけどをする原因となります。
- ガラス蓋をすると温度上昇が早くなるので、できあがりが早くなります。
吹きこぼれにはご注意ください。

MAX ライン — MAX WATER
(水: 1.6L)

MAX OIL



⚠ 警告

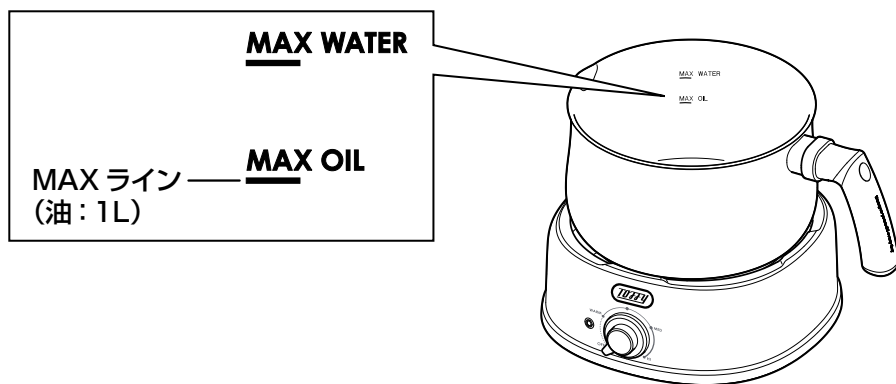
鍋の内側にある MAX ライン (1.6L) を超える量の水を入れないでください。
やけど・火災の原因となります。

⚠ 注意

- 脂を含んだ食材を焼くときは、油が飛ぶことがあります。
- ガラス蓋をすると、吹きこぼれやすくなりますのでご注意ください。
- 使用中や使用直後は本体やガラス蓋が非常に高温になっています。
高温部に触れないでください。
- 脂を含まない食材を焼くときは、油が飛ぶことがあります。
- ガラス蓋と鍋の間から蒸気や水滴が出るため、使用中にガラス蓋の周囲や鍋に手をかざしたり、触れたりしないでください。
- 茹で・蒸し料理をするときは、空炊きにならないように、必要に応じてお湯 (約 60℃) を追加してください。
- 使用中に本体を移動させないでください。
やけど・故障の原因となります。
- お米を炊くときは、2 合以下で行ってください。
吹きこぼれたり、お米が鍋からあふれたりして、思わぬ事故ややけどの原因となります。

使いかた (続き)

■ 揚げる (揚げものの料理の場合)



⚠ 警告

- 鍋の内側にある MAX ライン (1L) を超える量の油を入れないでください。
やけど・火災の原因となります。
- 少量の油で揚げものをすると発火のおそれがあります。油量は適量にて使用してください。
- 揚げものをする場合は、以下の点を守って使用してください。
 - ・油温が 200℃ 以上にならないようにしてください。火力は必ず MED・中火以下で使用してください。火災・故障の原因となります。
 - ・食材以外のものを入れない。
 - ・鍋に水分、水滴がついた状態で油を入れない。
 - ・調理中、顔を近づけない。
 - ・調理中、ガラス蓋を使わない。
(ガラス蓋の裏面に水滴が落ち、油が飛び散り危険です)
 - ・適温にならないうちに食材を入れない。
(食材が入っている状態で油温が上がってくると、油が飛び散り危険です)
 - ・オリーブオイルなど発火温度の低い油を使用しない。
 - ・揚げすぎに注意してください。
(特にいかやゆで卵は揚げすぎると、破裂することがあります)
 - ・調理後の油を鍋に入れたまま保管しない。

油の飛び散りを少なくするために

【食材の下ごしらえ（水気・水分をよく拭き取る）】

- いか・えび・ピーマン・ししとう等は、包丁で切り込みを入れ、中に溜まった水分・空気を抜いておきます。
- 魚介類など水分の多いもの、洗った野菜などはふきんで水分をよく拭き取ります。
- 冷凍食品についた氷はしっかり取り除きます。

【天ぷら衣、ドーナツなどの生地】

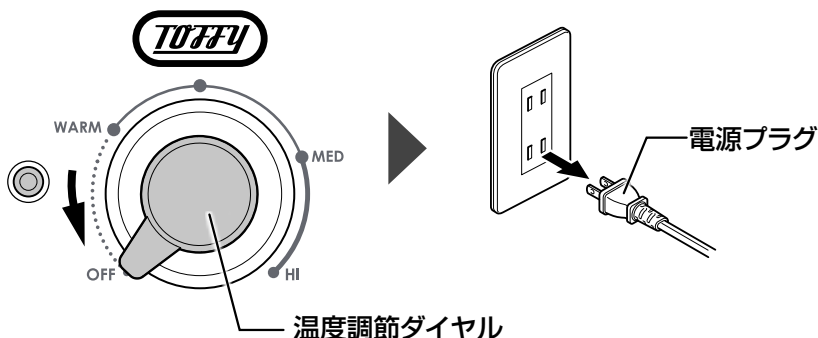
- 天ぷら衣やドーナツなどの生地を揚げるときに、正常にふくらまずに中の空気や水蒸気が急激に加熱膨張して、油が飛び散ることがあります。以下のようなことが原因になりますので、十分にご注意のうえ、衣や生地を作ってください。

- ・天ぷら衣が硬すぎる場合。目安：小麦粉100gに対し、水の量が80mL以下の場合。
- ・ドーナツなどの生地 베이킹パウダーや砂糖が入っていない場合。

上手に揚げるためのポイント

- 一度にたくさんの食材を入れすぎないでください。
- 調理中、箸などでつつきすぎないようにしてください。コロッケなど衣に穴があくと、中身が流れ出てしまいます。
- 揚げカスはこまめに取ってください。
- 揚げたものは、網つきバットなどにかさならないように並べ、油をきってください。

3 使用後は温度調節ダイヤルを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。



4 本体が十分冷めたことを確認し、器具用プラグをプラグ差込口から抜く。

お手入れのしかた

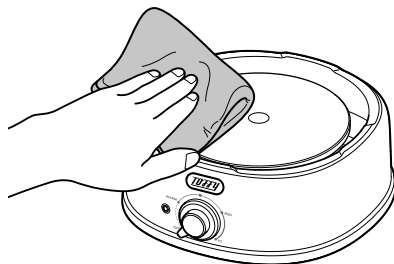
⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- 本製品のお手入れに、食器用洗剤以外の洗剤や研磨剤を含む洗剤、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因となります。
- 食器洗浄機、食器乾燥機などを使ったりしないでください。変形・破損の原因となります。

本体、加熱板

ふきん（食器用洗剤を溶かした水に浸した後、しぼったもの）で汚れを拭き取り、その後乾いたふきんで水分を拭き取ります。

- 加熱板のまわりに入り込んだ料理カスなどは、竹グシなどできれいに取り除いてください。
- 調理の汚れなどをそのままにして再度加熱すると、その汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。



ガラス蓋、鍋

食器用洗剤を含ませたスポンジで洗います。

- 洗った後は、すぐに乾燥させてください。

ふっ素樹脂加工を長持ちさせるために

鍋にはふっ素樹脂加工をほどこしてあります。

- ・樹脂製か木製のへらを使ってください。金属製のへら・スプーンなどを使うと傷が付く原因となります。
- ・ナイフやフォークなど鋭利なものでこすらないでください。
- ・調理物の残り（煮汁）や汚れを残したまま放置しないでください。ふっ素樹脂のはがれの原因となります。

器具用プラグ付き電源コード

乾いたやわらかい布で拭きます。

- めれた場合は、必ず完全に乾かしてから使用してください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。 → 11 ページ
鍋の温度が上がらない。 通電ランプがつかない。	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。 → 11 ページ
	温度調節ダイヤルの設定温度が低い。	温度調節ダイヤルの設定温度を上げてください。 → 10、12 ページ
	器具用プラグがプラグ差込口からはずれている。	器具用プラグをプラグ差込口に差し込んでください。 → 11 ページ
	鍋と本体の間に異物がはさまっている。	異物を取り除いてください。
使用中にきしみ音が発生する。	加熱板の熱膨張によるものです。	そのままご使用ください。
通電ランプがついたり消えたりする。	温度調節機能が働いているためです。	そのままご使用ください。

長期間で使用の2WAY電気マルチポットは定期的な点検をお願いします

- ・ 電源コードが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深い傷などがある。
- ・ 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・ そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

memo

memo

製品仕様

品名	Toffy 2WAY 電気マルチポット	品番	K-HP4
外形寸法	約 275 (W) × 250 (H) × 220 (D) mm ※鍋・ガラス蓋使用時	重量	約 1,790g ※鍋・ガラス蓋使用時 (電源コード含まず)
満水容量	2.5L	電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	1000W	電源コード長	約 1.2m
温度調節	保温～約 240℃	生産国	中国
付属品	ガラス蓋、電源コード、ユーザーズガイド (保証書含む)		

鍋単体

本体寸法	約 265 (W) × 105 (H) × 185 (D) mm 約 265 (W) × 175 (H) × 185 (D) mm ※ガラス蓋使用時		
表面加工	内面：ふっ素樹脂塗膜加工、外面：セラミック塗膜加工		
材料の種類	鍋：アルミニウム合金、ガラス蓋：強化ガラス		
底厚	約 2mm	重量	約 480g 約 810g ※ガラス蓋使用時
寸法	18cm	満水容量	2.5L
対応熱源	ガスコンロ／シーズヒーター／ハロゲンヒーター／エンクロヒーター／ラジエントヒーター ※ IH ヒーター／オープン／電子レンジ不可		

- ※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。
- ※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- ※ 「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。